

子供を取り巻く環境

校長 倉岡 ナオミ

風が金木犀の香を運んでくれます。朝夕の虫の音にも秋の深まりを感じる頃となりました。学校の方も前期から後期へと移っていきます。

豪雨による河の氾濫、火山の噴火、地震・・・このところの自然災害は何十年に一度と言われるほどで、科学など人智の及ばない大きな力が働いているように感じています。人間の引き起こす犯罪等も異常性を感じさせるものも多く、何か人心の乱れへの啓示のように思えてなりません。このように、子供たちを取り巻く自然環境はなかなか厳しいものがあります。しかし、私たちにできることは、今の一日一日を大切にし、正しい心で自分と周りの方々を幸せにできるように頑張ることなのではないかと思い、気持ちを切り替えて、秋の香を胸一杯に吸い込んで、大きく深呼吸をしてみました。

さて、目先にある子供たちの教育環境に目を向けてみたいと思います。先日、今年度の新しい行事であるニコニコポイントラリーを行いました。ペアの学年で校内や笹のは広場、緑地のポイントを回ってキーワードを集める活動でした。上級生が下級生を意識して活動を計画したり、ポイントでの問題に挑戦したりする姿がとてもほほえましかったです。振り返りにおいても「下級生が楽しんでいる姿を見て嬉しかった。」「ああいう優しい上級生になりたい。」などの声が聞かれ、「心かがやく笹小キッズ」のめあてに、また少し近づいたことを嬉しく思うと同時に、子供たちがこの行事を通して得たことが多かったと実感しました。この力が後期の活動でも生かされることでしょう。27年度も半分過ぎますので、今後も学校行事等、教育環境の内容について、子供たちにとってどうなのかという視点で見直し、より有意義なものにしていきたいと考えています。

次に、施設等の環境についてです。創立から45年経つ校舎は普通の掃除ではなかなかきれいになりません。そこで、夏休み中に技術員さんが、各教室や特別教室、1階廊下などの古い汚れをはがして、ワックスを塗ってくれました。床は見違えるほどぴかぴかで、とても明るくなりました。気持ちまで明るくなるようでした。教室の環境もとても大切です。また、トイレの改修工事が無事終了し、10月5日からは、西側2階から4階も全て使えるようになります。今までご不便をおかけいたしました。東側は来年度以降になる予定です。さらに、もうお気づきだと思いますが、正門脇の掲示板は季節の飾りに彩られています。これは、PTAの図書ボランティアの方々が作ってくださった物です。見るたびに癒されます。この場を借りて感謝申し上げます。皆様のおかげで、子供たちにとって、より過ごしやすい環境が整いました。

笹小を支えてくださる、地域・保護者の皆様は、子供たちにとっての人的環境としてとても重要で、ありがたいものです。後期も、私たち教職員も子供たちにとってのよりよい人的環境となれるよう、努力してまいります。